■米国：2016年までに27GWに相当する175基の石炭火力が廃止の見込み

エネルギー情報局（EIA）は2012年7月27日、2012年から2016年までの間に、27GW分に相当する175基の石炭火力が廃止される見込みであると発表した。2011年時点で、米国には318GWに相当する1,387基の石炭火力が存在していたが、175基全てが廃止されると、2011年と比較して容量ベースで8.5%に当たる石炭火力が減少する。毎年の内訳を見ると、2012年と2015年に9GWと10GWという大量の廃止が予定されているが、EIAでは電力需要や石炭価格の動向、環境規制への対応コスト次第で、今後の廃止基数が増加する可能性もあると見ている。